

現実世界とは必ずしも対応しないといった欠点もある。もし、より現実に即した景観を表現するのであれば、写真測量を活用した3次元鳥瞰図が有効であろう。地上目線とは異なる視点から景観を俯瞰し、地上で生じる（生じた）地理的現象を直感的に理解することに役立つと考えられる。地図に見慣れた専門家が、頭のなかで自動変換してきたイメージを、より多くの非専門家の人たちでも、3次元地理空間情報を通すことで、視覚的に、そのまま理解できるようになってきている。先に述べた三内丸山遺跡の事例は、まさにこの点を実現せしめる試みであり、遺物・遺構とそれにまつわる古代の人文現象（集落生態系）の復原イメージを、3次元景観図（鳥瞰図）を通して共有するものであった。

伝統的な地理や考古の研究成果についても、アートや3次元地理空間情報といった方法を加えることによって、研究成果を広く伝え、多くの人々の知的好奇心を刺激したり、あるいは生活に役立つ情報を提供したりすることが、可能となってきているのである。こうした「技法」は、必ずしも習得が困難なものではなく、だれもが手をつけられるカジュアル性をもつ（早川・小花和、2016）。そのためのワークショップなども、数多く開催されており、学校教育などにおいても活用を広げられるだろう。したがって、このよう

な手段を通して、地理、歴史、考古といった分野で扱われる事象も、より多くの人に困難なく受け入れられていくことが期待される。

〈参考文献〉

- ・東木龍七（1926）地形と貝塚分布より見たる關東低地の舊海岸線。地理学評論, 2, 597-607, 659-678, 746-773.
- ・辻 誠一郎・早川裕弐・安芸早穂子・吉川昌伸・吉川純子・植田弥生・鈴木 茂・安 昭炫・一木絵理・安室 一（2016）三内丸山遺跡の集落景観の復原と図像化。特別史跡三内丸山遺跡年報, 20, 36-51.
- ・大英博物館（2017）Sketchfab 公式アカウント。https://sketchfab.com/britishmuseum
- ・早川裕弐・小花和宏之（2016）小型無人航空機を用いたSfM多視点ステレオ写真測量による地形情報の空中計測。物理探査, 69, 297-309.

（はやかわ ゆういち

／東京大学准教授）